



国際会長 (IP) Moon Sang Bong (韓国)

“Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

“Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

会長 古田 和彦
副会長 古賀 健一郎
書記 金子 功
会計 伊藤 誠彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) 田中 博之 (東日本区)

“Action” 「アクション」

“With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「為せば、成る」

“No challenge, No fruit”

湘南・沖縄部部長 (DG) 佐藤 節子 (厚木)

「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Y's Men”

監事 松島 美一

ブリテン 古賀 健一郎

担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

押川 沢江

その日、その時、私はダビデのために正義の若枝を生
え出でさせる。彼は公正と正義を持ってこの国を治め
る。
(エレミア書 33 章 15 節)

今月のひとこと

「古今東西の表現の自由」

齋藤 宙也



今年は、かのフランソワ・ラブレー
の『ガルガンチュアとパンタグリユエ
ル物語』を読んでいた。この本の
日本語訳に初めてチャレンジしたのが、
東大の渡辺一夫氏でした。現在は、ち
くま文庫の手になるもっと読みやすい
文章の訳も出ていますが、それが出る

までの数十年間は、渡辺氏の岩波の翻訳しかなかったよう
です。つまり、それほど日本語訳の難しい大作で、チャーレン
ジャーが現れなかったということでしょう。古典文学というの
は、大なり小なり難解…なのですが、これもまた大変でした。
一応、既存の権威 (特に、ルネサンス期のカトリック教会、
パリ大学神学部) を風刺するという触れ込みです。世界史の
教科書にも、そのように書いてあります。しかし、渡辺氏が、
ここが風刺だと一生懸命注で摘示してくれるのですが、何が
風刺なのかさっぱり分かりません (苦笑)。まあ、私の教養

の問題なのですが。この風刺について、第1、第2の書では
若さあふれる明快なものであったとされるが、当局から発禁
処分を受けてしまったため、第3以降はもっと注意深く鞆晦
(とうかい) 的に行ったのだそうです。それほど遠回しにし
てもなお、あえなく発禁処分となってしまう。そのく
らい、言論出版の自由がなかった時代ということ。我が
国の戦前と同じです。当の宗教的な問題については、宗教改
革から500年余りということで、いろいろ両宗派で和解の機
運もあると聞いています。ただ、私はクリスチャンではな
いのでその辺は述べません。

2018年の日本。戦前のような検閲はなく、ほとんど出版そ
のものの制限はありません。〜イト本であれ、政権批判本で
あれ、出版は禁じられていません。しかし、現代の人権侵害
(本稿では、表現の自由に限る。) は、より鞆晦的に行われ
ます。出版の自由に関していえば、出版そのものを禁じる
ということは、さすがにないでしょう。しかし、自治体レベル
では、学校や公立の図書館から『はだしのゲン』をいわば焚
書にするなど、より鞆晦的な形で出版の弾圧が行われていま
す。集合住宅にビラを入れただけで処罰したり、憲法9条の
俳句を公民館だよりに掲載しない、公共の施設を市民集会に
使わせないというのも、より鞆晦的な言論封殺です。さすが
に、戦前と全く同じやり方で分かりやすく表現の自由を侵害
する例は、ほとんどありません。必ず、何かしら理屈 (政治
的中立、集合住宅の住民の意思、子どもに与える影響など)
が立つやり方で行います。これは偶然ではなく、権力側が学
習した必然の結果と考えられます。

YMCAも、SDGsへの取組を加速させています。確
かに、発展途上国では、まだ明確な、露骨な人権侵害が行われ
ているでしょう。しかし、そうでなくとも、このような鞆晦
的な人権侵害、間違いなく鞆晦的なやり方が選ばれるという

<2018年11月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
13名	メ 9名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 1名 合計 10名	85% (メーキャップ 2名含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<12月の行事予定>

強調月間「EMC/MC」

日	曜	時間	行事内容	場所
4	火	19:00	第83回Y-Y's協議会	中央YMCA
13	木	18:00	第一例会兼クリスマス忘年会	廣東飯店
20	木	18:30	横浜YMCAクリスマス	とつかYMCA

こともまた、考えるに値する問題です。

「11月第一例会報告」

伊藤 誠彦

日時 : 11月8日(木) 18:30~20:30

場所 : 横浜中央YMCA501号室

出席者 : 青木、伊藤、今村、大江、大高、金子、古賀、田口、古田

例会開始に先立ち、10月20日に実施されたチャリティーランの事務局長を務められた長田さんと学童担当の青木さんが横浜ワイズのささやかな支援に対して、お礼の挨拶に来て下さいました。ご丁寧に有難うございました。

例会は、伊藤ワイズの司会で開始。古田会長による開会点鐘、挨拶に続き、ワイズソング、ワイズの信条を唱和。今村ワイズの聖句朗読と解説では、2001年1月JR新大久保駅で泥酔して線路に転落した男を助けようと、韓国人留学生と日本人カメラマンが線路に飛び降り、結局、電車にはねられ3人とも死亡した事件を引き合いにして、人のために命を捨てることは最も尊い行為であると強調されました。(ブリテン2011年3月号に今村さんの関連記事あり)

食前感謝、食事の後は卓話。11月の卓話は、YMCA理解の第3弾、青木担当主事による「YMCA専門学校事業」。

卓話は、青木さんが担当されている横浜YMCA学院専門学校作業療法科の紹介から始まり、横浜YMCA専門学校の今後の在り方についてまで話を展開したものです。

作業療法科は、国家資格である作業療法士になるために必要な知識・技能を修得するための学



卓話者の青木担当主事

科です。学生は、身体と心のリハビリテーションを行う専門家として、病院等の医療機関への就職を目指しています。専任教員6人と約40名の外部講師が学習を支援していますが、留年や退学者も少なからずいるそうです。

近年では18才人口の減少に伴い、横浜YMCA専門学校の在籍生の数が減少傾向にあることも事実であり、他の専門学校との競争も激化する傾向にある上に、職業人を育成するための実践的教育を重視する専門学校の分野に、一般の大学が進出して来る傾向も見られるそうです。

そのような環境下において、「選ばれる学校」になるためには、各専門分野における高度な教育を提供することは勿論のこととして、YMCAがこれまでの活動を通じて培ってきた多様な価値感及び理念をカリキュラムや学校諸行事の中に、差別化要因として、具体的に確立することが求められるとしています。

その詳細については、青木さんが3年間に及ぶ主事研修の終了論文としてまとめられた「専門学校におけるキャリア教育の推進方法」を青木さんから拝借してお読みください。

例会の終了直前、全員に「感謝 今村讚」と添え書きされた熊本の「柳屋本舗」の羊羹が配られました。今村さんの横浜YMCA25年継続会員の表彰を記念して、ご実家のお菓子を下さったものです。有難うございました。

「第1回湘南・沖縄部フレッシュセミナー報告」

大高 治

日時 : 2018年11月11日(日) 10時~15時

会場 : 横浜YMCA606教室

主としてワイズ会員歴5~6年以内の者を対象に、ワイズの原点や、楽しいクラブの在り方などを学ぶことを目的に湘南・沖縄部主催の標記のセミナーが開催された。

セミナーは堀田部書記が所用で欠席のため、伊藤部会計が代役で司会を務め、佐藤部長の他、加藤利榮ワイズ、鈴木茂ワイズ、辻剛ワイズが講師を務めた。プログラムと主たる内容は次の通り。

1. 『自己紹介とアイスブレイキング』(佐藤節子部長)
部長の号令でストレッチ、コグニサイズを含む独特の体操



フレッシュセミナー講義の様子

2. 『ワイズの歴史 何故沖縄のクラブが沖縄・湘南部に所属することになったか』(加藤利榮ワイズ)

①横浜クラブがスポンサーしたため、湘南・沖縄部に属することになった。②1989年8月那覇クラブ設立。③定款では2つ以上のクラブで部がつくれる。沖縄部として独立するのも一法。④2009年11月沖縄クラブが金沢八景クラブのスポンサーで誕生

3. 『ワイズメンズクラブとは何か』(鈴木茂ワイズ)

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

ワイズの定義と使命 ワイズの特質、ワイズにおけるキリスト教、ワイズとYMCAの関係等々について簡潔、且つ、明瞭に解説頂いた。

例えば、ワイズとキリスト教との関係で言うと、東日本区定款では「・・・イエス・キリストの愛と奉仕の実践を目指し、・・・」としているが、必ずしも「信仰を以て」とは規定していない。あくまでも「教えに基づく」ことを強調している、等である。

4. 『東日本区の定款について』(辻 剛ワイズ)

定款はワイズ活動の基本規則を定めた重要なものであり、改定に取り組んで7年掛かった。新定款は2018年7月1日から施行され、新しいロースターに掲載されている。理解を深め記憶に残るよう、変更点を主に30問のクエスチョン形式にして、問われ、最後に別途正解のプリントが配布された。

5. 『遊びの心理学』(佐藤節子部長)

佐藤部長のリードで共通の歌、特殊な体操で午後の部の幕を開けた。①あなたはどのタイプ? 「自我状況チェック表」に記入し、結果を性格「パターンに当てはめ」、「自分をしよう」に照らして、自己のタイプ分析をして順に発表した。「うまくバランスをとる」ことが重要。②星と波を画き、性格分析をして頂いた。

6. 『コミュニケーション・ゲームと本セミナーの感想』

内容の濃く良いセミナーであったとの出席者からの感想が多かった。



横浜クラブ参加者：青木、伊藤、大高、古賀

「第2回湘南・沖縄部評議会報告」

金子 功

日時：2018年11月17日(土) 14:00~17:15

場所：横浜中央YMCA 606教室

第2回湘南・沖縄部評議会は、堀田哲郎部書記の司会により、佐藤節子部長による開会点鐘・挨拶、ワイズソング・ワイズの信条唱和、青木部担当主事の聖書朗読・祈祷をもって開始された。出席役員21名に加え、11名の委任状提出により評議会成立の定足数が確認され協議にはいった。議長は佐藤部長で下記の議案が協議された。

1. 次年度部長以外の役員については1月中旬をめぐり次年度部長より提案されることで合意された。
2. 次年度部長の活動費支給額については、従来の30,000円に加え、協議の結果特別会計より15万円支給することが承認された。
3. 次次期部長の選考については、改めて次期部長選考委員会を開催しその場で協議することが合意された。
4. CS支援金の申請作業が多少遅れているが速やかに山田地域奉仕・Yサ事業主査が取りまとめることが合意された。
5. 辻剛エクステンション委員会委員長より提案された新

クラブの設立について、特定のクラブがスポンサーになるのではなく、部がスポンサーになることが承認された。又6,000円の入会金も特別会計からの費出を視野に、部が負担することが承認された。

6. 伊藤誠彦部会計から提案の当年度予算の一部修正が承認された。又部大会(9月15日開催)の欠損金の一般会計からの補填が承認された。

7. 佐藤部長より2019年1月13日のY-Y's合同新年会、並びに2月16日~17日の沖縄部長公式訪問の予定が提案され承認された。

最後に金子次年度部運営検討委員会委員長より、同委員会の任務が上記2.の協議をもって完了したことを受け、同委員会の解散が動議として提案され承認された。

議案の協議終了後は、堀田部書記の司会で区、部、クラブ、YMCAからの報告に移り予定時間を大幅に超過して17:15に終了。横浜クラブからの出席者：青木、伊藤、金子、古賀、古田。

「横浜YMCAウェルカムフェスタ報告」

古田 和彦

11月23日(金・祝)午前10時から午後2時30分、恒例のウェルカムフェスタが横浜中央YMCA全館挙げて行われました。横浜ワイズは例年に倣い、606教室を会場として「バザー」を担当しました。それに先立ち前日の22日にはバザーのために集められた品々を陳列・値付け作業を午後1時から4時半まで行いました。年ごとに品物の集まり具合は減ってきている感がありますが、それでも品物の整理等参加のメン・メネは楽しく、和気あいあいのうちにほぼ準備を完了させることができました。

23日当日は午前9時に集合、放送を通じてお祈りを共にし、

10時開始まで残っていた品物の値付けや陳列の見直し、それぞれの持ち場も決めてスタン



バイは完了、開場を迎えました。開場とともに、例年通り大勢の来客があり、来客との掛け合いのうちに楽しく一日を過ごしました。今年は、11時半過ぎには半額に、午後1時にはすべて10円と値段を下げ、その都度全館放送をしたこともあり、品物ほぼすべて売り切ることができました。その結果、国際・地域協力募金となる売り上げは、私たちの担当部分が126,469円となり、前年を約2万円上回りました。なお、当クラブから10月末にあらかじめ寄贈した十勝ジャガイモ10箱は26,500円の売り上げでした。22、23両日にわたり、石井志津さんはじめYMCA職員のみなさま、専門学校の学生が応援してくださり大変助かりました。心からお礼申し上げます。

メン・メネは交替で昼休みをとりましたが、日本語学校の学生が販売するお国自慢の料理を頂いたり、「ロバの家」のクッキーを買い上げたりし、全館のイベント会場巡りも楽し

いひと時でした。

フェスタの最中に、熊本スピリットクラブ福島貴志会長が東山荘で行われる日本YMCA大会参加の合間を見て訪ねてくださいました。フェスタ終了後、短い時間でしたが、近くの喫茶店でお茶の時間を共にし、熊本YMCAやワイズの働き、特に熊本地震復興支援活動についてお話を伺い、昨年引き続きDBCを視野に入れて交流の機会を持つことができました。



YMCA職員と専門学校生と共に

参加者は、22日は伊藤メン・メネ、大高メン・メネ、金子、古賀メン・メネ、古田メン・メネの9人、23日は22日の参加者に加えて、青木、遠藤、金子メネ、田口、松島の14人でした。

参加者は、22日は伊藤メン・メネ、大高メン・メ

開催いたしました。横浜ワイズメンズクラブの皆様には、バザーのボランティアとしてお手伝いいただきました。当日はバザーの販売で約16万円の募金が集まり、ウェルカムフェスタ全体では約96万円の募金が集まりました。事前準備や当日の販売のボランティアをして頂いた、皆様に、心より感謝いたします。

●2018年度クリスマス会のお知らせ

2018年度YMCAクリスマス会のお知らせです。クリスマス喜びを皆様と共に分かち合いたいと思います。皆様のご参加お待ちしております。

日程：12月20日(木) 午後6時30分～午後8時30分

会場：湘南とつかYMCAホール

開場：午後6時00分

説教：佐藤 千郎 牧師(社会福祉法人横須賀基督教社会館理事長)

祝会：午後7時45分～8時30分 祝会参加費(1,000円)は、当日受付にてお願いいたします。

第二例会報告

古賀 健一郎

日時：11月22日(木) 16:00～16:30

場所：横浜中央YMCA606教室

出席者：青木、伊藤、大高、金子、古賀

協議・確認・検討事項

①今後の行事予定の確認

②11/23(金・祝)横浜YMCAのウェルカムフェスタの対応
・本日22日(木)13時に606号室に集合しバザー準備会を行い、値付け、陳列の作業を終了した。(横浜クラブからメン・メネ9名参加)。11/23(金・祝)集合時間9時に606号室に集合することにした。参加予定の14名のメン・メネのバザーでの分担・配置を決めた。

・熊本スピリットクラブ 福島会長が23日午前中に来訪予定なので、古田会長にはその対応を第一に考え、バザーでは全体的な指揮をお願いした。

③ワイズポテトは11/14に10箱完売した。売上は26,500円。

④クリスマス・忘年会(12月の第1例会も兼ねる)12/13(木)18時より廣東飯店にて開催予定。他クラブやYMCA職員との交流を図るべく、関係者にご案内中。

⑤Y-Y's合同新年会(1月の第1例会も兼ねる)1/12(土)18時より廣東飯店にて開催予定。横浜クラブ出席者とりまとめ中。

⑥『ロースターに関する意見の集約』は継続審議とした。

12月例会プログラム

日時：12月13日(木) 18:00～20:30

場所：廣東飯店(横浜中華街)

司会：松島ワイズ

第1部例会

1. 開会点鐘および挨拶・・・古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条・・・全員
3. 今月の聖句・・・押川メネット
4. ゲスト・ビジター紹介・・・古田会長
5. ビジネス・報告・・・古田会長
6. Happy Birthday 古田伽知子(13)
7. 閉会点鐘・・・古田会長

第2部 クリスマス・忘年会

1. 食前感謝・・・押川メネット
2. 会食・懇談

例会報告：大高ワイズ

1月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
12	土	18:00	Y-Y's 合同新年会 兼第一例会	廣東飯店
24	木	17:00	第二例会	中央YMCA



担当主事 青木 一弘

■横浜中央YMCAウェルカムフェスタのご報告
横浜YMCA国際・地域協力募金の一環として、横浜中央YMCAでは、11月23日(金・祝)に、ウェルカムフェスタを

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。
メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org
電話 045-641-5785

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★